

養正學堂

現下學校として觀るべきは、伊犁に於ける養正學堂とす。是れ伊犁將軍の施設に係るものにて、専ら滿人及蒙古人を教育せり。學科目は、滿、蒙、漢文を以てし、目下在校して教授を受けつゝ在る生徒は、百餘名に達す。

高等學堂

又烏魯木齊に一の高等學堂あり。學科目には漢文、英文、地理、歴史、算學、體操等を編入規定し在るも、實際行はるゝは漢文の講讀と、題を課して文章を作らしむるのみ。當時在校生徒は、四十餘名あり。聞く予が視察の翌年、即ち我明治四十一年より、該校は法政學堂と改稱し、邦人林出賢次郎氏教鞭を執ると云ふ。

武備學堂

又伊犁將軍長庚氏着任(我明治四十年)以來、銳意軍隊教育の振興を圖り、其の第一着手として、伊犁に武備學堂を設立し、保定の將弁學堂卒業生數名を招聘して教官とし、爾來孜孜入學生を教授しつゝ在り。以上伊犁の養正學堂及武備學堂、烏魯木齊の法政學堂等は、將來益々發達するや否やを知らずと雖も、其他の各都府、各村邑に至ては、國民教育としては未だ何等の施設あるを見ず。之れを要するに新疆昨今の教育事業は、甚だ不振の狀況に在りて、未だ文明の曙光だも見ることも能はざるなり。